

# 物流現場の紙・ホワイトボード運用からの脱却 — 大手製造業が選んだ最適解 —

ターゲット業界  
(ユーザ業界)

大手製造業

用途

物流業務の効率化

紙やホワイトボードによるアナログ運用が根強く残る物流現場。ある大手製造業が、現場の課題と向き合い、Biz/Browser を活用して電子化と業務効率化を実現しました。初期コストや導入リスクを抑えながら、マルチデバイス対応と豊富な機能で“現場にフィットするDX”を推進。今、物流業務は次のステージー自動化・システム連携へと進化を始めています。

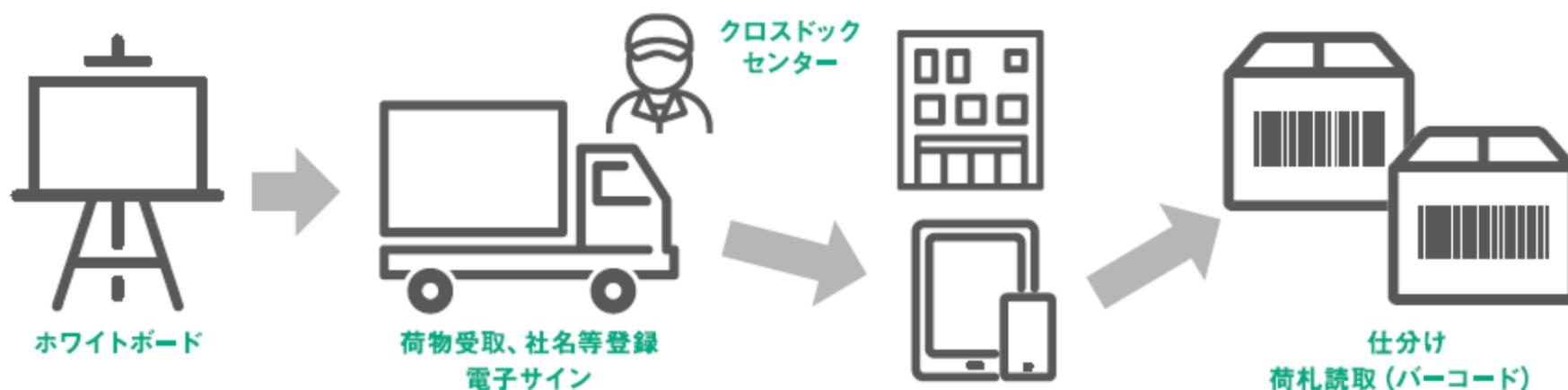
© 2026 Accenture. All rights reserved.

## 導入背景

荷受け、登録、サイン、荷札貼付、出荷などのセンター業務は、紙やホワイトボードを用いて運用していたが、電子化やシステム化による効率化と省力化を検討していた。

## 課題

- 1.大規模なシステム構築は、検討に長期間を要し、初期コストが高額でリスクも伴う
- 2.利用者や場所によって、最適なデバイスが異なる



**BizBrowser®**  
採用ポイント

マルチデバイス対応

iPad、Androidの各種ハンディターミナル

豊富な機能

手書きサインやオフライン対応など、リッチなアプリ開発

## 導入効果

merit  
**1**

アナログ業務を電子化することで、データの保持やハンドリングが可能となり、運用効率が向上した

merit  
**2**

次のステップとして、他システムとの連携や自動化に向けたDX化プランの検討が開始された

**詳細はブースにお立ち寄りください!**

出展社名:

アクセンチュア株式会社

小間番号:

**21**